

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
習志野きらっとスプリント	2018/7/25	JpnIII	船橋	1000m	ハイペース	良	コース適性

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	サトノスピードオー	牡5	56	川島	ダノンシャンティ	サンデー系	Storm Cat	ノーザン系	B	B	B	C	B	C	×1	
2	2	ジョーオリオン	牡9	57	藤本	ダイワメジャー	サンデー系	ジェイドロバリー	ミスプロ系	D	C	C	C	C	C		
3	3	フラットライナーズ	牡6	57	左海	シニスターミニスター	ナスルーラ系	タイキシャトル	ヘイロー系	C	B	B	B	B	B	△2	
	4	コウギョウダグラス	牡11	57	村松	スターリングローズ	ミスプロ系	メジロライアン	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
4	5	アピア	セ7	57	御神本	ファスリエフ	ノーザン系	アグネスタキオン	サンデー系	A	A	A	B	A	B	◎	
	6	ラディヴィナ	牝5	54	瀧川	サウスヴィグラス	ミスプロ系	ラシアンボンド	ノーザン系	D	B	B	B	B	C	△3	
5	7	モンドール	牡5	56	竹村	オレハマッテルゼ	サンデー系	フォーティナイナー	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
	8	ワイルドジーク	牡7	56	岡部	サウスヴィグラス	ミスプロ系	メジロライアン	ノーザン系	D	B	D	D	C	C		
6	9	サトノタイガー	牡10	58	笹川	キングカメハメハ	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	C	B	B	B	B	B	△1	
	10	サクラレグナム	牡9	53	赤岡	サクラプレジデント	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	D	A	B	B	B	B	×2	
7	11	クルセイズスピリッツ	牡3	54	西	サウスヴィグラス	ミスプロ系	ハブルガムフェロー	サンデー系	C	B	B	B	B	B	▲	
	12	シュダイカ	牝4	57	真島	クロフネ	ノーザン系	ジャングルポケット	ナスルーラ系	D	B	D	D	D	D		
8	13	エイシンテキサス	牡8	56	岡村	Speightsown	ミスプロ系	Forest Wildcat	ノーザン系	D	C	C	C	C	C		
	14	タイセイバンデット	牡7	56	岩橋	サウスヴィグラス	ミスプロ系	マヤノトップガン	ロベルト系	B	B	B	B	B	B	○	

隊列図	見解	ラップタイム
フラッ クルセ タイセ アピア ラディ エイシ サトス サトタ サクラ ジョー ワイル シュダ コウギ モンド	船橋1000mはリーピーター色の強いコース。船橋記念ではナイキマドリッドが12～15年に4連覇、習志野きらっとスプリントではラブミーチャンが11～13年に3連覇を達成。2頭の能力が抜けていたとはいえ、同コースのレースでは適性がいかに重要かの証明でもあるだろう。今年の習志野きらっとスプリントも過去に同コースで実績のある馬がチラホラ。まずはコース適性重視で考えていきたい。それでは予想にいきましょう。	回顧
ハイペース	本命は アピア でいいだろう。船橋1000mは2戦2勝で今年の船橋記念勝ち馬。船橋記念は相手関係に恵まれたとはいえ、直線は余裕を残しつつのゴールで、時計はまだ詰まりそうだった。今回は当時負かしたサトノタイガー、フラットライナーズらが相手。コース適性、相手関係を考えると勝ち負け濃厚だろう。人気でも逆らう余地はない。(以下省略)	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	サトノスピードオー	×1	能力自体はラディヴィナ、サトノタイガーより高いだろう。問題は最内枠を引いたこと。スタートがそこまで速くなく、540キロ台の大型馬でエンジンのかかりが遅いので、内枠で揉まれる競馬に不安。		
2	2	ジョーオリオン		今年の同条件で行われた船橋記念は勝ち馬アピアから1.0秒差の5着と完敗。上位争いは難しい。		
3	3	フラットライナズ	△2	17年に同コースで行われた船橋記念勝ち馬だが、当時は2着ブラックレグ、3着ムービングライトと明らかに相手関係に恵まれた。その後は17年習志野きらっとスプリント4着、18年船橋記念4着とあと一歩。今回も馬券に絡むか絡まないかの際どいラインに似そふだ。		
	4	コウギョウダグラス		南関東でアタマ打ちになって佐賀に移籍した馬。南関東の重賞ではスピードについていけるので精いっぱいだろう。		
4	5	アピア	◎	船橋1000mは2戦2勝で今年の船橋記念勝ち馬。船橋記念は相手関係に恵まれたとはいえ、直線は余裕を残しつつのゴールで、時計はまだ詰まりそうだった。今回は当時負かしたサトノタイガー、フラットライナズらが相手。コース適性、相手関係を考えると勝ち負け濃厚だろう。人気でも逆らう余地はない。		
	6	ラディヴィナ	△3	は1000m以下のレースで【6.1.0.0】と底を見せていないが、唯一敗戦したのが船橋1000mの閃光スプリント。当時、勝ち馬サトノスピードオーに完敗といえる内容。今回は相手がさらに強くなっており、勝ち負けまでは難しいかもしれない。		
5	7	モンドール		前走園田FCSスプリントで5着。今回は相手が一段と強くなっており、上位争いは難しいだろう。		
	8	ワイルドジーク		距離短縮自体はプラスに働きそうだが、笠松のA3で勝ち上がれない馬。南関東の重賞では追走で精いっぱいだろう。		
6	9	サトノタイガー	△1	船橋1000m巧者。同条件の重賞では【0.2.1.1】と堅実に走っている。年齢的にさすがにピークを過ぎたものの、今年の船橋記念や前走川崎スパーキングスプリントと大して変わらないメンバーなら展開ひとつで上位争いのチャンスはある。		
	10	サクラレグナム	×2	前走さきたま杯では6着に健闘しており、このメンバーなら能力的に大きく見劣ることはないはず。差し馬ながら器用な面があるので、大箱より小回りコース向き。船橋1000mはかみ合うかもしれない。		
7	11	クルセイズスピリッツ	▲	前走優駿スプリントは16頭立ての11番人気での勝利だったが、前半600m通過34.3秒のハイペースを2番手から押し切っており、決してフロックではなさそう。走破時計も古馬オープンに入っても通用するレベル。前走同様に外枠からスムーズな先行策を打てれば、簡単には止まらないのではないかと。		
	12	シュダイカ		佐賀のB1～3で勝ち上がれない馬。南関東の重賞では荷が重い。		
8	13	エイシンテキサス		今年の園田FCスプリント勝ち馬だが、元々は南関東のB級で壁にぶつかっていた馬。南関東馬相手では荷が重いだろう。		
	14	タイセイバンデット	○	昨年の習志野きらっとスプリント2着馬だが、当時は勝ち馬スアデラが強過ぎただけ。本馬はそのスアデラを追いかけながらの2着で着順通りに評価していいレースだろう。当時、フラットライナズ、サトノタイガーに完勝。このメンバーならアピアと互角の競馬ができるのは本馬しかいない。		